

フランシスコ教皇来日決定

パチカンが9月13日、教皇フランシスコの来日を正式に発表した。教皇来日は、聖ヨハネ・パウロ2世教皇以来、38年ぶりとなる。来日期間は11月23日から26日まで、東京、長崎、広島を訪れ、東京と長崎でミサを捧げる。詳細な日程については今後、教皇来日の特設ウェブサイト (<https://popeinjapan2019.jp/>) で順次公開される。ミサの申込方法などについては、福岡教区本部事務局より各小教区、修道院に通知されているほか、上記の特設サイトでも申し込める。

来日テーマ：すべてのいのちを守るため ～ PROTECT ALL LIFE ～



特設サイトではテーマの意味を次のように説明。「今日の日本にも、いのちと平和に関する諸問題が山積しています。経済、環境、近隣諸国との関係といった問題のほか、大規模な天災や原発事故からの復興も、持続的な課題として存在しています。わたしたち日本の教会は、あらゆるいのちを守り、人間の生の諸問題に真摯に取り組むべく努めています。キリストが示されたいのちの福音を告げ知らせ、キリストによる平和のために祈り働くその決意を、教皇来日のテーマは表しています。」

ローマ教皇来日記念企画展 10月19日～12月3日

福岡教区では教皇来日にあわせ、教皇来日記念企画展「- いくつしみと憐れみの人 - 教皇フランシスコ」をカトリック大名町教会で開催いたします。様々な関連イベントも予定されています。詳細は各小教区に配布のポスター、チラシをご覧ください。

開幕記念講演会 10月19日(土) 13時半～15時 講師：片柳弘史師

期間 2019年10月19日(土)～12月3日(火)
開館時間 12:00～17:00 ※水曜休み
(金曜日は20:00まで)

会場 カトリック大名町教会
(福岡市中央区大名2-7-7)

入場無料 Admission FREE
主催 カトリック福岡司教区
共催 カトリック福岡教区信徒使徒職協議会

パパ様を写真とメッセージ、エピソードで紹介。教皇フランシスコ直筆の手紙や38年前のヨハネ・パウロ2世来日時の記事・関連グッズも展示。



高見大司教主司式による平和祈願ミサ

8月12日(月・祝)、カトリック平和の旬間の一環として、大名町教会にて高見三司教(長崎大司教区)の講演会が行われた。テーマは「世界遺産にみる信教の自由と平和」。高見大司教は、歴史的にキリスト教が禁教になった背景、禁教令のもとでのキリストの生活、厳しい取り調べや拷問を受けながらも260年間、キリスト教が発見され

福岡地区

るまで、守ってきた信仰についてなど、分かりやすく話した。また、「長崎の歴史ある古い教会の現存は、それぞれの信徒が役割をもって、協力し合い、信頼しあって共同体を守ってきたところによる」と語り、世界遺産の登録の経緯も説明した。

講演会後には平和祈願ミサが捧げられた。高見大司教は説教で、「私たち一人ひとりが心に平和を持ち、平和を愛する人間であってほしい。日本が過去の過ちを繰り返さないようにするためには、自分たちが平和を作る人間として生きていくことが大切である」と苦しい問題があっても感情的にならず、お互いのこ

北九州地区

北九州地区信徒使徒職協議会は8月4日(日)、「第19回北九州平和の集い」(実行委

8月のカトリック平和の旬間に、各地で「平和を考える」催しが行われた。福岡地区と北九州地区の集いでも、講演会やミサやイベントを通して「平和を大切にしよう」という心や隣人との関わりから平和を作り出すこと」などを学んだ。会場は平和を願う情熱に包まれた。

福岡と北九州地区で平和の集い 平和の作り手として生きる



杉原寛信使徒座管理区長認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 下町豊重
カトリック福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部70円

10月の意向
【福音宣教】教会における宣教の「出発」
【日本の教会】科学・技術に携わる人びとのために
教皇様の意向のために祈りましょう

時の話題

心の向きを変える

フランシスコ教皇さまが来日される嬉しいニュースが届きました。ポスターには今回の来日の目的、「すべてのいのちを守るため」と「あなたに、話がある」という言葉が書かれています。「あなたに、話がある。」という言葉が、この言葉はイエスの福音の最初の言葉の思い起こさせます。「イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝えて、『時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい』と言われた。(マルコ1:14)。

「あなたに、話がある。」という言葉が、この言葉が、イエスの福音の最初の言葉の思い起こさせます。「イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝えて、『時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい』と言われた。(マルコ1:14)。

悔い改めるとは回心すること。心をイエスに向けていること。まず、心の向いている方向をイエスの方に回すことです。方向転換。

イエスは「わたしの方を向きなさい。あなたに、話がある。ここに福音が、あなたを生かす言葉と力があるのです」と初めに呼びかけられたのでした。

「あなたに、話がある。」
ポスターのこのキャッチコピー(?)をどなたが考えられたのかは知りませんが、まさにわたしたちの心をキャッチする言葉だと思いました。イエスの方を向いて福音をキャッチするのは、イエスを信じて福音を伝えることです。

10月は「福音宣教のための特別月間」と定められています。

小郡・鳥栖教会主任
山元眞神父

和田墓地ミサ・納骨式



祈りを込めた折り鶴を奉納する子どもと受け取る司祭たち

今年もお盆の和田墓地(福岡市南区)の開放日を8月13日から15日まで設けた。13日は330人、14日は400人、15日は270人以上が祈りに来ていた。15日は台風の影響を考慮し、例年張っているテントを取り止め、第一納骨堂の下に祭壇を移し、雨が降らない場所に椅子を並べた所に200人弱の信者が集いミサに参加した。教区和田墓地担当司祭平田三好神父(糸島教会)、教区本部事務局青木悟神父(司教館)、他3人の司祭団の共同司式で行われた。会衆は雨に打たれながら、聖母の被昇天と終戦記念日に当たり、和田墓地に眠る死者を偲び、祈りを捧げた。納骨式では7人が納められた。先に、台風を心配する方々から墓地ミサと納骨式が行われるかどうかの問い合わせがあったが、無事に行われたことを神に感謝した。

「苦しい問題があっても感情的にならず、お互いのこ

員長川追立泰治/行橋教会)を開催した。

テーマは「私の隣人とは誰ですか(ルカ10章29節)」だれもが平和の作り手になれるのです。午前は平和祈願ミサを北九州地区カトリック13教会で捧げ、午後は北九州平和の集いをカトリック小倉教会にて、子ども25人、司祭・助祭・神学生ら12人を含む250人の参加者で行った。

深堀勝人神父(北九州地区長)は、「世界平和の視点だけでなく、家庭から始まる平和を大切に平和を築いていく」と願っている」と挨拶した。講師の谷口尚志神父(水巻教会)は、「平和をつくることは自分自身が全ての人の隣人となることによつて実現していくと信じているのではないだろうか」と語った。

子どもの広場では、マザーテレサのビデオ(アニメ)15分程度を鑑賞し、「平和のために自分ができること」について、自分の思いや考えを折り紙に書き、その折り紙で

「あなたに、話がある。」
ポスターのこのキャッチコピー(?)をどなたが考えられたのかは知りませんが、まさにわたしたちの心をキャッチする言葉だと思いました。イエスの方を向いて福音をキャッチするのは、イエスを信じて福音を伝えることです。

10月は「福音宣教のための特別月間」と定められています。

小郡・鳥栖教会主任
山元眞神父

今年もお盆の和田墓地(福岡市南区)の開放日を8月13日から15日まで設けた。13日は330人、14日は400人、15日は270人以上が祈りに来ていた。15日は台風の影響を考慮し、例年張っているテントを取り止め、第一納骨堂の下に祭壇を移し、雨が降らない場所に椅子を並べた所に200人弱の信者が集いミサに参加した。教区和田墓地担当司祭平田三好神父(糸島教会)、教区本部事務局青木悟神父(司教館)、他3人の司祭団の共同司式で行われた。会衆は雨に打たれながら、聖母の被昇天と終戦記念日に当たり、和田墓地に眠る死者を偲び、祈りを捧げた。納骨式では7人が納められた。先に、台風を心配する方々から墓地ミサと納骨式が行われるかどうかの問い合わせがあったが、無事に行われたことを神に感謝した。

みちくさ

夜中3時頃からの大雨。タン張りの二階の屋根を叩きつける雨音でいつもより早く起こされてしまった。「外を見てみよう」と司祭館の玄関のドアを開けた途端「ええっ、入り口ぎりぎりまで水が来ている。これじゃ出れない!」とすぐ閉めた。テレビでは、どの局も状況の悪化を流している。「〇〇駅の周辺が冠水していて、水位が車のタイヤの上まで来ています! 特別警戒レベル5が発令されました。直ちに避難してください!」など。あちこちとメールし合って安否を気遣う。まさに、自然と人間との間に怖い思いを抱かせるのか?と誰もが尋ねる。それに対して、「全知全能の神様がなさることは人間のちっぽけな考えでは及びもつきません。でも、何かを覚えておられるはず。例えば、自然と人との共存の大切さとか、付き合い方とか、また、人間同志の助け合いの必要性とか、いろいろです。被害がないように祈りながら、神様のお考えが達せられるようにと願うしかありません。それと、イエス様が言っておられます。『その日が突然あなた方を襲うことがないように、注意していないなさい』(ルカ21章34節)と。どんな状況にも応じられる信仰生活をしていれば、何が来ようと大丈夫ですよ。たとえば、死が訪れたとしても」と答える。(S)

教区幼児教育連盟 研修大会



様々な課題や悩みについて分かち合う参加者ら

・祈りと
・関わり

加した。

1日目は中林康子氏を講師に迎え、「自分のコミュニケーション・パターンに気づく」というテーマで講演を伺った。人間における5つの自我状態について、より良いコミュニケーションのあり方を実践しながら、保育に臨めるように考える一時を持った。

2日目は中井俊巳氏を講師に迎え、「いのり・ひかり・みのり」のうちに感謝して」というテーマで講演を伺った。

6年目の「博多にきんしゃい」 子どもたちが輝ける未来を

8月2日(金)から5日(月)の4日間、震災から8年が経過した今年も、福岡の子どもたちを招いて6年目の「博多にきんしゃい」が行われた。今年参加者は小学4年生と6年生の男女15人と同行スタッフ3人。その中には嬉しいことに昨年のリピーターの

子どもたちも。福岡タワーやNHK見学、笹丘教会での夏祭り、海水浴、福岡市内や大宰府散策、大名町教会でのミサへの参加、日曜学校の子どもたちとの交流、ラーメン作り等、盛り沢山な内容で行われた。各日活動の終わりには、夕



福岡からの子ども達とスタッフ

た。わたしたちが成長し、幸せになるための10のヒントを教えてもらいながら、いかに神様との関わりの中で、いのちに感謝し、人間として成長しながら、愛を実行し、幸せになっていくことが、子どもにも自分にも大切かと学んだ。

教職員の確保が厳しさを増し、労働環境問題や園の理想と求められるニーズとのギャップの中で悩みも分かち合った参加者達。神様から託された幼児のいのちに奉仕する務めの大切さを再確認し、努力する決意を新たにす機会となった。

大村入管の長期収容者についての声明

長崎県の大村入国管理センター(大村市、以下、大村入管)で6月下旬、ハンガーストライキを行った長期収容者のナイジェリア人男性が死亡した。悲しみと怒り、動揺は大村入管に収容されている人とその支援者を包んでいる。

美野島司牧センターのM.コース神父(パリ外国宣教会)は長年にわたり、数人の司祭と信徒ボランティアと共に、大村入管に収容されている人を定期的に訪問、支援している。コース神父はこのような

村入管でのナイジェリア人死亡)をきっかけに「収容されている外国人は...これまでに類を見ないほどの精神的苦痛を負っている」「すべてのハンガーストライキを表明している者に対して、再び死者が出るような事が起こる前に、一刻も早く放免を求め」「すべての法律、制度は、人の命を守るためであるはずである」。

福岡地区カトリック女性の会 聖モニカ祭

8月27日(火)、大名町教会にて聖モニカ祭が行われた。約210人が福岡地区カトリック女性の会の守護者聖モニカへの感謝と取次ぎを願うとともに、この1年間の婦天者の永遠の安息を祈るミサと追悼式に参加した。



婦天者のために焼香をする参列者

「寄留者を虐待したり、圧迫してはならない(出エジプト記22章20節)」この事件大

「教区の日」報告書より⑤ 佐賀地区 武雄教会 人びとへの声掛けを

「教区の日2018」のミサの中で奉納された「小教区信仰活動報告書」。各地区1つの教会の報告を要約して紹介していく。今回は佐賀地区、武雄教会の取組み。

武雄教会の年間目標を「人々への声掛け」として打ち出し、取り組んできた。この目標に対する反省や展望から振り返ってみたい。新しい人が訪れたら、出来るだけ声掛けをし、温かく迎えるようにした。教会にあまり来られない人たちにメールを送り、行事などがある時には声を掛け、誘うようにした。皆、教会へ来たい気持ちはいしつかり

持っているようだが、生活に追われている様子も感じられる。話を聞きながら、無理なく声を掛けていきたい。未信者の方への声掛けは難しい。自分がカトリック信者であることは伝えられる。質問があれば、教会や信仰について話してはいるが、神様の教を伝えていくまでには至っていないと思う。さて、現在の教会の姿を見てみると、主日のミサには平均15から20人が参加しているが、その内の5人位が日本人である。半数以上が外国籍(フィリピン・ペトナム)の技能実習生であり、滞在期間がある。日本で結婚し、生活

ルチア 水浦シヅエ 修道女 (シヨファイユの幼きイエス修道士会) 7月30日に帰天。享年96。

信じる喜びから伝える喜びへ⑦

平和を実現する人々は幸い

〔喜びに喜べ〕87〜89

「神はそれを見て良しとされた」(創世記1章)。この言葉は神様が天地創造をされる時の言葉です。それほど平和だった当時の状況を表す言葉だと言ったことが出来ます。しかし、今、私たちは神様から頂いた平和を守っていくより、は、争いによる国と国との対立と利害的で打算的かつ自己

中心的な頑な心によって、悪が支配している現実の中に生きています。神様が望んでおられる世の中は、暗闇が支配する世の中ではなく、真の平和が実現される世の中です。それでは、真の平和は、どこから実現されるのでしょうか。それは「人間の心と意思」からです。

フランシスコ教皇は、「和を重んじる人から平和が始まります」(『喜びに喜べ』88)と訴えておられます。それは、私たちの心から平和が溢れ出る時、真の平和を実現できる

という意味と同時に、「神の子と呼ばれる」という恵みを得ることができるとい意味としての言葉だと思えます。そして、「この家に平和」(ルカ福音書10章5節)という聖書の箇所のように、神様は、今日も私たちが平和と一致の実を結ぶための道具として世の中に派遣しておられます。なぜなら、平和は、結局、「一致のための道」だからです。平和の種を通した一致の実を結ぶ時、人間のすべての否定的なことが肯定的なことに変わることになり、「平和に役立つことを追い求める時」(『喜びに喜べ』88)、初めて、福音的な平和を成し遂げられることになり得ます。

「あなたにたに平和があるように」(ヨハネ20章26節)というイエス様の言葉に従って平和のために働く道具として生きていくことが、平和を成し遂げる真の私たちの務めだと思えます。

執筆者 金貞根神父(福岡教区/武蔵ヶ丘教会主任)

【講演会・研修会・黙想会のお知らせ】 講師・指導司祭：来住英俊神父(御受難修道会)

10月26日(土)14～16時 講演会「カトリックの死生観」(於：ザビエル聖堂、入場無料)

11月23日(土)14～16時 講演会「『謝る』ということ」(於：ザビエル聖堂、入場無料)

11月3日(日)～4日(月) 研修会「カトリックの死生観」

12月7日(土)～8日(日) 待降節黙想会「イエスはすでに共におられる」

◆研修会と黙想会は参加費 10,000円、定員 15人、要申込

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)

Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokusou@fokokusou.com

ミサ用ワイン

ヴァノ デ ミサ VINO DE MISA

スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店 ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

筑後地区 「Mission ミッション」

8月17日(土)～18日(日)の一泊二日の日程で、「Mission ミッション」～一人ひとりの役割～をテーマに、今村教会信徒会館にて筑後地区子どもサマーキャンプが開催された。



今年は、地区長の竹森勇神父(今村教会)をはじめ、地区の主任司祭方、船津亮太助祭、大神学生2人の参加があり、実行委員の明光学園高校生3人と愛苦会のシスターと一緒に子ども達十数人が集った。

オリエンテーション後、自己紹介を兼ねた「猛獣狩りゲーム」から始まって、多くのゲームで盛り上がりを見せた。夕食はバーベキューに舌鼓を打ち、夜は自作の光竹の「キャンドル行列」をしたり、助祭の講話を聴いた。翌日の主日ミサでは各自が典礼の役割をしっかりと果たした。参加者の感想文には、「家での手伝いが増えそうだ」、「みんなで作ったご飯がおいしかった」等々、キャンプのテーマであった「各自の役割」を意識し、遂行した成果が表現されていた。また、愛苦会のシスターの提案で作成された「絵手紙」に、来年の自分の役割の目標を記入し、来年の3月(進級する前)に確認できるよう、自宅へ郵送することとした。

「来年も参加するのでキャンプをしてください」などのうれしい声をもらったこともあり、毎年顔を合わせる子ども達の成長を期待しながら、皆が笑顔で楽しめるキャンプを来年も行えるように神様にお祈りしたい。

熊本地区 「フランシスコ教皇を迎えよう！」

子どもたちを対象とした「サマーキャンプ」を天草町大江「ブルーアイランド天草」で、7月29日から31日の2泊3日で開催した。主催は熊本地区宣教司牧評議会。



今回は、熊本市内の教会(手取教会・武蔵ヶ丘教会・島崎教会)と大江教会(天草)から約30人の子どもたちと司祭、日曜学校リーダー、保護者、支援者の約30人が参加した。

今年は、11月下旬に教皇が来日されることもあり、「フランシスコ教皇を迎えよう！」というテーマで行われたが、子どもたちにとって教皇のことを知るいい機会となった。司祭が中心となり企画されたプログラムの中では、朝と夕の祈りとミサが大江教会(30日)、崎津教会(31日)で行われました。また、レクリエーションを始め、海水浴、夜の花火などを野外で楽しんだ。初日の夜のバーベキューでは、肉、焼きそばに、天草の「イカ焼き」や「サザエのつぼ焼き」などに舌鼓を打った。その他の食事は、支援の皆さんの心のこもる料理で満たされ、感謝した。最終日は、サプライズとして、天草市五和町で漁船に乗り「イルカウォッチング」を楽しんだ後、それぞれ帰路に着いた。司祭から「まだ天草に居たいですか?」との質問に、大半の子どもたちの「まだ居たい!」との大きな返事があったことが印象的であった。思い出多きサマーキャンプであったことに神に感謝!

佐賀地区 「信仰を次の世代へ」



8月3日(土)、佐賀地区宣教司牧評議会主催(会長 下町豊重神父)で佐賀地区サマーキャンプが佐賀市大和町のロザリオ幼稚園にて開催された。少しでも参加者を増やすため、また猛暑対策のために室内で一日のみの開催とした。この日は、約30人の子ども達と約40人の大人が参加し、指導司祭(十時伸治神父)やシスター方(聖母の騎士修道女会)、佐賀地区出身の大神学生が主導した。

午前中のプログラムでは、レクリエーションで参加者一同の親睦を図り、シスターが考えた聖書にまつわるクイズもあるなど、親睦を深めた。昼食をはさんで、午後からは歌の練習の後、隣接する特別養護老人ホーム「ロザリオの園」を訪問。施設職員から説明を受けながら施設内を見学させていただき、入居者の要介護状態に合うよう工夫された最新の設備などを教えていただいた。質問タイムでは、小中高生よりも大人の参加者から入居条件や費用などの切実な疑問が寄せられる一幕もあったが、その後は参加者全員で歌のプレゼントを届けて、短い時間ながら入居者の方々と触れ合うことができた。普段体験できないことを行い、「楽しかった」「貴重な時間を過ごした」と話す参加者も多くいた。

各地のサマーキャンプ便り

中高生キャンプFYCC 「Wa!」 カトリック福岡地区青年会主催

福岡教区内の中高生を対象としたキャンプFYCC16が、「Wa!」というテーマのもと8月11～12日の2日間、佐賀県にある北山少年自然の家で行われた。今年、福岡地区、佐賀地区から計18人の中高生が参加した。また、今年初めて教会ではない「公共の施設」での開催となり、準備の段階から青年スタッフが互いに協力し、「中高生がどのようにしたら楽しんでくれるか」を考えながら、当日を迎えた。2日間のプログラムの中では、青年スタッフが考えたレクリエーションや工作、キャンプファイヤー、祈り、ミサを行い、それぞれの活動の中で今年のテーマである「Wa!」を体感することができた。また、プログラムの最後には、FYCC16で見つけた「Wa!」について班ごとに分かち合い、絆を深めた。



「FYCC16で見つけた『Wa!』をそれぞれの小教区に持ち帰り、さらに広げていくことを願っています」と主催者は語る。

九州青年キャンプ in 長崎

教区を超えた九州の青年の出会い、交流、分かち合いの場として毎年開催される「九州青年キャンプ」。今年は長崎で8月24日～25日に行われた。福岡の10小教区から13人が参加、全体では40人が集った。レクリエーション、BBQ、晩の祈り、交流会、ミサ...と楽しい時間が流れた。

参加者は「久しぶりの友だちや、初めて出会う人、そして福岡の仲間とともに楽しい時間を過ごしました。盛沢山だった教区内の夏のイベントのリフレッシュができました。今後、多くの青年が参加出来たら良いと思います」と語る。

来年は大分教区での開催予定。



召命キャンプ 「ささげよう」

福岡教区の神学生が主催する「召命キャンプ」が福岡カトリック神学院のキャンパスで8月7日～8日に開催された。小学生からサポート役の高校生まで5人が参加し、少人数ながらも、参加者一人ひとりとじっくり交流できる素晴らしいひと時となった。



今回のテーマは「ささげよう」。神さまの手に自分を委ね、それぞれが招かれている道を生きていくことができるよう、共に祈りを捧げた。テーマに合わせた二つのワークショップを準備。1日目は「粘土ろうそく作り」。各々の象徴として小羊を作り、ミサで奉納した。2日目は「ホスチア作り」で、ホスチアの歴史を聖書から学びながら、ホットプレートで焼き、ミサで用いた。他にもテゼの祈りや召命体験の分かち合いの時間をもった。

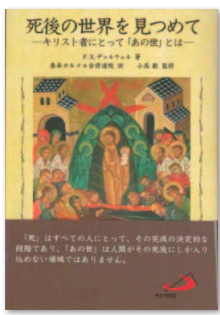
主催した神学生は「たくさん恵みを与えてくださった神さま、参加してくれた子どもたち、支えてくださった教区の方々、養成担当の神父様方に、感謝します。子どもたちの健やかな成長を祈り続けています」と話す。

熊本県水俣市 明光幼稚園「お泊り保育」

年長児の夏の大きな行事として「お泊り保育」があります。日が近づくにつて、ワクワク・ドキドキ。じっとしてられない様子で、「先生、楽しみだね!」「もうすぐだね!」と話す子ども達の顔は期待でいっぱいでした。当日は晴天に恵まれ、園バスで芦北青少年の家に到着しました。昼食後、「海辺」へと出発です。海岸までは距離がありましたが、白い砂浜に着くと、駆け足で海に入りました。するとヒトデや貝殻を見つけて、「見て、見て!」と嬉しそうな声が飛び交いました。夕食後の「祈りの夕べ」では各自の出し物をした後、感謝の祈りをし、大海原にゆっくりと沈む夕陽の美しく神秘的な景色を心に刻みました。自然の中におかれた子どもたちは、その恵みを発見し、喜びを体いっぱい表現していました。子どもたちがたくましく成長する姿を見て、私たち教員は子ども一人ひとりを神様の大きな手に委ねた気持ちになり、その偉大さを改めて感じた暑い夏の2日間でした。

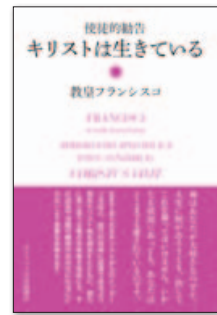


「現代社会にあって、『あの世』について語ることは愚かなことか、人間がその死後にしか入り込めない領域なのか」。長年、死について考えた著者が、キリスト教的視点から、すべての人に必ず訪れる死について、また、「あの世」について考察する。



☆死後の世界を見つめて
「キリスト者にとってあの世とは」
F. X. デュルウエル 著

生きておられるキリストからのメッセージを伝え、自己の召命に忠実であるよう青年キリスト者を励ますとともに、彼らに寄り添う立場の司牧者や信徒にも、その成長や活躍の障害や足かせになることのないよう貴重な示唆をなす。若さの意味を説き、青春にある者、かつて青春にあった者、どちらをも力強く温かく励ます、教皇からのメッセージ。
カトリック中央協議会発行
価格1400円＋税



☆使徒的勧告「キリストは生きている」



不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
株) ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 **森山工務店**
ヨゼフ 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会 1F
平日/AM10時30分~PM5時
日曜/AM11時~PM2時(定休日 水曜・祝日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

信じる喜びから 伝える喜びへ

2019年10月は「福音宣教のための特別月間」

2019年8月号の教区報を参考に、各共同体で「福音宣教」について学び、分かちあい、一人ひとりが呼ばれている「宣教者」としての歩みを進めましょう。

また、10月20日(日)は世界宣教の日(献金日)です。



福岡教区の公式 Facebook ページが開設されました。「カトリック福岡司教区」で検索ください。新しいホームページも11月にリニューアルオープン予定です。

教区エキュメニズム部講演会 キリスト教と諸宗教

日時: 10月6日(日) 14時~16時20分
場所: カトリック大名町教会 1階講堂
講師: フランコ・ソットコロノラ神父 (ザベリオ宣教会/真命山)

召命促進チーム発足に協力を

召命活動に関心があり、協力し力になりたいと望まれる方に、ご参集いただけますなら幸いです。

日時: 10月13日(日) 13時~15時
場所: カトリック大名町教会
連絡先: ☎092・871・4943 大山悟神父

北九州地区信徒使徒職協議会主催 講演会・ミサ

福者ディエゴ加賀山隼人殉教400年祭

日時: 10月14日(月・祝) 10時~12時30分
場所: カトリック小倉教会
講演: 殉教者について
講師: 来住英俊神父(御受難修道会)
記念ミサ: 浜口末男司教(大分教区長) 主司式

熊本地区宣教司牧評議会主催 研修会

フランシスコ教皇を迎えよう!

日時: 10月14日(月・祝) 10時30分~16時
場所: カトリック手取教会 ※15時15分からミサ
講師: 阿部仲麻呂神父(サレジオ会)

自死された方々のための追悼ミサ

身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。当日参列困難な場合は意向をお預かりすることもできます。お気軽にお問合せ下さい。
日時: 10月19日(土) 13時~15時(交流会含)
場所: 大濠カトリック会館(福岡市中央区大濠1-7-14)
ミサ司式: 青木悟神父(福岡教区)
問合せ: ☎090・8410・8927 叶堂
メール mimioi0108@gmail.com

教区生活聖化委員会主催/聖パウロ聖書センター協賛

講演会「迫害と殉教時代における福音理解」

信仰と希望の拠り所はどこに?

日時: 10月20日(日) 14時~15時30分
場所: カトリック大名町教会 聖堂
講師: 澤田豊成神父(聖パウロ修道会)

世界文化遺産天草の崎津集落

キリシタン伝来450年祭

日時: 10月27日(日) 9時半~記念ミサ、10時40分~聖体行列、12時~コンサート、13時~講演、14時~諸宗教対話、15時10分~"絵踏み" 絵画披露、その他15時半終了予定
会場: カトリック崎津教会とその周辺
問合せ: ☎0969・79・0015 崎津教会

舞台劇「五島崩れ一樁の島のアヴェ・マリア」が12月13日、博多座(福岡市博多区)で上演。芥川賞作家、森禮子氏の同名小説の舞台化。チケット購入・割引については各教会に配布の案内をご覧ください。

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

10月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 10・11月

10月 5日(土) ロザリオの会
6日(日)~12日(土) 聖マリア在俗会
14日(月) 滑石教会巡礼/ザビエル聖堂バザー
16日(水)~17日(木) 礼拝会
20日(日)~26日(土) 聖アウグスチノ修道会
26日(土) 来住神父講演会「カトリックの死生観」
28日(月)~29日(火) やすらぎ会
11月 2日(土) ロザリオの会

※お電話またはメールでお問合せください。
*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com

本紙2面下広告に来住神父の講演会・研修会・黙想会情報を掲載

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ: 「祈り」 神秘体験~キリストによって神との出会い
日時: 10月10日(木) 10時~15時
内容: 「わたしは...いつもあなたがたと共にいる」(マタイ28・20)
指導者: フランコ・ソットコロノラ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先: 真命山諸宗教対話・霊性交流センター
次回: 11月14日(木) 「わたしはアルファであり、オメガである」
☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町崎浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時: 10月5日(土)・19日(土) 10時~11時45分
11月2日(土)・16日(土) 10時~11時45分
場所: カトリック大名町教会小聖堂

9日吉
■キリストの教え・聖書を心に学ぶ会(日時) 10月15・19日

■レジオマリエ福岡クリア(日時) 10月13日(日) 14時~16時(場所) 高宮教会(問合せ先) ☎090・9654・9966

■福岡チエナクルム(司祭の MARIA 運動)(日時) 10月11日(金) 10時30分(場所) 高宮教会(指導) パウロ神父(カプチン・フランシスコ修道会(問合せ先) ☎090・7468・3631 西田)

■カルメル在世会集(日時) 10月21日(月) 10時半(場所) 福岡女子カルメル会修道院・テレサの家(内容) ミサ・講話(カルメルの霊性) (指導) 大瀬高司神父(カルメル会管区長) (問合せ先) ☎095・8288・2350 鶴池

■ラスキン黙想と祈りの集い(テゼの祈り)(日時) 10月25日(金) 19時45分から(場所) 小倉教会(内容) ミ

■北九州召命を共に祈る会(日時) 10月10日(木) 14時から(場所) 小倉教会(内容) ミ

- 1日(火) 聖テレジア(幼いイエスの)おとめ教会博士
4日(金) 聖フランシスコ(アシジ)修道者
6日(日) 年間第27主日 佐賀教会堅信式
教区エキュメニズム部講演会(大名町教会)
↑C. ガッツアルディ(2016年 伊万里教会)
↑イ・スンヒョン(2018年 水巻教会)
7日(月) ロザリオの聖母
↑J. ノーリス(2007年 八代教会)
↑J. ニドハム(2004年 熊本マリスト)
↑K. オマホニ(2003年 荒尾教会)
↑E. ハトリック(2007年 笹丘教会)
13日(日) 年間第28主日 笹丘教会堅信式
14日(月) 福者ディエゴ加賀山隼人殉教400年祭(小倉教会)
熊本地区宣教司牧評議会研修会(手取教会)
15日(火) 聖テレジア(イエスの)おとめ教会博士
教区司祭黙想会(~17日)
16日(水) ↑フランソワ徳山登(2000年 門司港教会)
17日(木) 聖イグナチオ(アンチオケ)司教殉教者
18日(金) 聖ルカ福音記者
20日(日) 年間第29主日 世界宣教の日(献金)
教区生活聖化委員会研修会(大名町教会)
↑S. ライル(2012年 ファミリーセンター)
26日(土) 年間第30主日 今村・本郷教会堅信式
崎津集落キリシタン宣教450年祭
↑H. キニユ(2004年 天神町教会)
28日(月) 聖シモン・聖ユダ使徒
29日(火) ↑T. アクイナス大木章次郎(2015年 伊万里トラピスト)
【11月】
1日(金) 諸聖人
2日(土) 死者の日
3日(日) 年間第31主日 不動山殉教顕彰祈念ミサ
4日(月) 聖カロロ・ポロメオ司教 神学院祭

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時~12時半(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(問合せ先) ☎092・521・2503 蓮尾

◆聖トミニコ信徒会集(日時) 10月5・19日(土) 15時~17時(場所) 箱崎教会(内容) 福音の分かち合い(指導) アントニオ李神父(ドミニコ会) (問合せ先) ☎092・651・3867 箱崎教会

◆震災のための祈りのリレー(日時) 10月11日(金) ミサ6時半から/夕の祈り(テゼの祈り) 19時半から(場所) 笹丘教会(問合せ先) ☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)

◆福岡チエナクルム(司祭の MARIA 運動)(日時) 10月11日(金) 10時30分(場所) 高宮教会(指導) パウロ神父(カプチン・フランシスコ修道会(問合せ先) ☎090・7468・3631 西田)

◆カルメル在世会集(日時) 10月21日(月) 10時半(場所) 福岡女子カルメル会修道院・テレサの家(内容) ミサ・講話(カルメルの霊性) (指導) 大瀬高司神父(カルメル会管区長) (問合せ先) ☎095・8288・2350 鶴池

◆ラスキン黙想と祈りの集い(テゼの祈り)(日時) 10月25日(金) 19時45分から(場所) 小倉教会(内容) ミ

◆北九州召命を共に祈る会(日時) 10月10日(木) 14時から(場所) 小倉教会(内容) ミ

◆大町教会小聖堂(問合せ先) ☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)

◆虹の会(子どもを亡くした親の会)(日時) 10月26日(土) 14時~16時半(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階(参加費) 500円(問合せ先) ☎090・1162・6395 柴田

◆美野島司牧センター あなたの勇気が路上の命を支えます! ◆ホームレスの方に手作りのお昼ごはん 毎週火曜日10時 ◆ホームレス支援夜回り毎月第1金曜日・調理14時・夜回り20時 ◆路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419 M・コース神父

◆ザビエル聖堂献堂6周年記念講演会(日時) 11月16日(土) 10時半~15時(場所) 福岡黙想の家ザビエル聖堂(講師) 中村克徳神父(御受難修道会) ※参加費無料・午後には献堂記念ミサ、昼食は各自用意ください(問合せ先) ☎0940・3222 福岡黙想の家

◆熊本地区召命を共に祈る会(日時) 10月17日(木) 10時半から(場所) 手取教会(内容) ミサと分かち合い(問合せ先) ☎096・368・2825 健康教会・浦川神父

◆熊本の聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時) 毎週金曜日10時半~12時(場所) 手取教会信徒会館(問合せ先) ☎096・368・2825

◆サと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905 藤井

◆小倉祈りの集い(日時) 10月25日(金) 13時半~15時(場所) 小倉教会信徒会館2階(内容) 「みことばを味わう」 賛美と感謝の祈り(問合せ先) ☎090・3985・5209 松田

編集後記

大雨等で被災された皆様によりお見舞い申し上げます。生きとし生けるものすべての「いのち」に結ばれながら、教皇来日に備えたいものです。(C)

お知らせ

古市匡史神学生(神学科3年)が10月1日付で東京教区に移籍。引き続き、古市神学生(歩み)のためにお祈りください。

熊本

◆熊本の聖霊による刷新熊本祈りの集い(日時) 毎週金曜日10時半~12時(場所) 手取教会信徒会館(問合せ先) ☎096・368・2825

メモリードール 人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は 薬院・油山・野芥・小田部・今宿 馬出・南福岡・大野城・飯塚 市民葬儀・法事相談センター 六本松店・赤坂店 0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター 地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院 救命救急センター 地域災害拠点病院 千830-8543 福岡県久留米市津福本町422 TEL0942-35-3322(代表) FAX0942-34-3115 http://www.st-mary-med.or.jp

聖地イスラエル巡礼の旅 10日間 旅行期間: 2020年3月22日(日)~31日(火) 同行司祭: 中村 彰 神父(西新教会) 旅行代金: 15名参加 589,000円 申込先: 阪急交通社 福岡団体支店 TEL 092-761-8833 / Fax 092-761-8666 担当 山中・宮原 申込締切: 12月25日(水)

キリスト教書籍・用品 お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ! http://www.paulus.jp パウルスショップ メディアによる福音宣教のために... サンパウロ福岡宣教センター 10:00~18:00(月~土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 *駐車場完備 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930